

令和 8 年度 第 1 回 介護医療連携推進会議（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）

事業所名	あすならホーム菜畑 安心ケアシステム																																											
開催日時	2026 年 9 月 18 日（金） 11:00～11:30																																											
開催場所	あすならホーム菜畑 サロン（オンライン参加併用）																																											
出席者	（１）利用者及びご家族 欠席 （２）地域・医療・介護 7 名 （３）生駒市役所 1 名 （４）地域包括支援センター 1 名 （５）協同福祉会 4 名																																											
議題	1. 開会のあいさつ 2. 参加者自己紹介 3. 活動状況報告 ・介護度別登録状況 令和 8 年 7 月 登録者数： 46 名（平均介護度：2.1） 女性：33 名 男性：13 名 平均年齢 女性：86.4 歳 男性：83.4 歳 <table><tr><td>介 1</td><td>介 2</td><td>介 3</td><td>介 4</td><td>介 5</td><td>申請中</td><td>合計</td></tr><tr><td>22</td><td>20</td><td>6</td><td>4</td><td>0</td><td>3</td><td>55</td></tr></table> 新規利用： 4 名、契約解除： 2 名、入院者： 3 名、利用再開：1 名 令和 8 年 8 月 登録者数： 53 名（平均介護度：2.0） 女性：33 名 男性：11 名 平均年齢 女性：86.4 歳 男性：84.4 歳 <table><tr><td>介 1</td><td>介 2</td><td>介 3</td><td>介 4</td><td>介 5</td><td>申請中</td><td>合計</td></tr><tr><td>22</td><td>20</td><td>6</td><td>4</td><td>0</td><td>1</td><td>53</td></tr></table> 新規利用： 7 名、契約解除： 0 名、入院者： 4 名、利用再開： 4 名 ・サービス別利用状況 <table><tr><td></td><td>独居</td><td>日中独居</td><td>高齢世帯</td><td>公費受給者</td></tr><tr><td>7 月</td><td>32 名</td><td>7 名</td><td>7 回</td><td>5 名</td></tr><tr><td>8 月</td><td>33 名</td><td>7 名</td><td>13 回</td><td>7 名</td></tr></table> ・地域との連携に関する報告 ・認知症の利用者が夜間に近隣宅のインターホンを押す事例について、近隣住民への説明及び事業所の連絡先の共有を行った。初期段階から家族、介護支援専門員、地域関係者等と情報共有し、地域住民のみが対応を担うことのない支援体制を整えることを課題認識した。 ・日常のサービス提供内容・実績（サービス事例）報告 ・独居及び老老介護世帯を中心に、複数回の訪問を通して、服薬状況、食事・水分摂取、転倒リスク、体調変化等を継続的に確認した。 ・ターミナル期の利用者について、ご家族・介護職・看護職・医師が連携し、本人の状態に応じ、可能な限り住み慣れたご自宅で過ごせるよう支援した事例を報告。 ・非常災害対策の取り組み報告（消防計画、避難訓練の実施状況） ・風水害等の災害発生時には、独居で自ら連絡を取ることが困難な利用者等について、安否確認の優先順位を整理する必要がある。利用者の安否確認を行うと共に、訪問が必要な場合に職員が二次災害に巻き込まれることのないよう、必要に応じて複数名で対応する等、職員自身の安全確保も徹底する。	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計	22	20	6	4	0	3	55	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計	22	20	6	4	0	1	53		独居	日中独居	高齢世帯	公費受給者	7 月	32 名	7 名	7 回	5 名	8 月	33 名	7 名	13 回	7 名
介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計																																						
22	20	6	4	0	3	55																																						
介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	申請中	合計																																						
22	20	6	4	0	1	53																																						
	独居	日中独居	高齢世帯	公費受給者																																								
7 月	32 名	7 名	7 回	5 名																																								
8 月	33 名	7 名	13 回	7 名																																								

	・行事の実施報告 ・葉煙サロンにて夏祭りを実施、外出機会の少ない利用者にとって、季節を感じて、地域の方々と交流する機会となった。引き続き、利用者の身体状況や生活状況に配慮しつつ、少人数での外出や地域の行事に参加する、等を企画する。 ・事故やヒヤリハットの報告（発生状況や再発防止策） ・訪問時に主に車両を使用するため交通事故防止に向け安全運転を徹底。9月から生活道路における速度規制開始され、ルール遵守・安全運転について再周知した。 ・利用者の健康管理に係る取り組み報告（熱中症や感染症等の予防策） ・夏季の熱中症及び脱水予防として、水分摂取確認、必要時には随時訪問を実施、水分確保困難な利用者については、家族と飲料の準備・購入を相談し、支援した。エアコンを使用しない利用者へは、タイマー設定等により室温管理する、等の取組により、熱中症・脱水による入院者は無かった。 ・看護職と介護職が利用者の状態を共有、医師及び薬剤師とも連携し、服薬状況や体調変化について必要時に相談できる体制を整えている。 4. 評価・感想・ご意見・要望 ・生駒市、包括職員より ・利用者の生活を支えるため、多職種及び地域との連携を継続するとともに、災害時には利用者及び職員双方の安全確保を踏まえた対応を継続してほしい。 ・認知症に関する近隣トラブル等について、市にも相談が寄せられている。 ・災害時の利用者支援や関係機関との連携について、事業所が適切に取り組んでいることを評価する。 ・このサービスは、本人が住み慣れた地域で生活を継続するための重要なサービスである。今後も本人の意思及び生活の質を尊重した支援を継続してほしい。 ・軽度の段階から地域のサロン等につながることで、必要な支援を早期に開始できる可能性がある。 ・ご本人・ご家族が施設入所のみを選択肢とするのではなく、在宅サービスを含めた複数の選択肢について検討できるよう、医療・介護・家族・地域が連携し、利用者本人がその人らしい生活を継続できるよう、多様な選択肢を提示していくことが重要である。 ・定期巡回、小多機、デイ等の様々なサービスをされており、サロンもある。本人や家族に幅広い選択肢があることを伝えてゆきたい。 ・地域住民の代表より ・熱中症予防や日常生活におけるきめ細かな支援について評価する。 ・認知症の方を地域で支えるため、家族、事業所、行政、地域住民等の連携をさらに深めて欲しい。 ・認知症の方による夜間の近隣訪問等について、地域住民だけで対応を抱え込まない仕組みが必要である。 ・民生委員、自治会、事業所等が平時から情報交換を行い、地域で高齢者を見守る体制を整える必要がある。特に、災害時や緊急時にも連携できる体制を整える必要性について意見交換を行った。 ・香芝市社会福祉協議会で、「気になる会議」がある。地域で気になる人のことを意見交換し、話し合う場として開催されており関心深い。市でも調べて頂きたい。 5. 閉会のあいさつ
次回開催	令和9年3月19日（金）11:00～11:30 葉煙サロン ※オンライン開催併用